

# Topics

## 蟲のね、収穫、祭の秋 今後のスケジュール

- 9/3 美原体協会長杯開会式(体育館)
- 10/8 ワークセンターつつじ運動会(雨天決行)
- 10/9 第43回堺市民オリンピック
- 12/1 さつき野学園マラソン大会支援
- 12/17 吉野川師走マラソン
- 12/中 会長杯第3回美原マラソン& 駅伝



### 晴れ所々曇り 大台ヶ原RUN 台風5号が来る前に日出ヶ岳まで

8月行事の恒例となっている大台ヶ原RUN。今年は妙な動きと遅い速度で悩ましい台風5号の影響が心配されましたが、その速度の遅さが幸いし、8/6予定通り実施することができました。天候不順な中でしたが当日は概ね晴れで気持ちよく走れました。

総勢13名、3台の車でいつものスタート地点まで向かい、運転手3名を残し厳しい坂を登り始めました。途中で久々に大橋夫妻が上から下ってきて合流、皆と一緒にゴール地点の駐車場まで走って登ってきました。



### 台風の影響で熊野灘からガス 何度登ってもRUN後は疲れます

昼食の後はこれも恒例となってきた日出ヶ岳に登りました。快晴だった昨年と違い、熊野灘より吹上げられてくる風に乗ってガスが広がり景色を楽しむことはできませんでした。皆疲れがピークで最短コースで戻りました。



**切磋琢磨** 美原走ろう会の二枚看板  
70歳を超えても果敢にフルマラソン完走に拘る原本さん【上】。40歳になりサブスリーを目標に走り込む村上さん【下】。目標や年代が違っても競い合ったり励ましあったり、それぞれの目標に向かって一緒に汗を流しています。

# 美原走ろう会 会報

平成29年第3号

美原走ろう会会長  
発行責任者 八田 武士  
編集責任者 藤本 和典



## PL花火芸術 since 1953 64年の歴史

PL教団2代目教祖が初代教祖の遺志を継ぎ世界平和のために1953年に打上げたのが始まり。今年は64回目を数えました。写真提供は八田会長です。

## 美原走ろう会 40周年に向けて

創立40周年へ残り半年を切りました。会員の皆様にはこれからの美原走ろう会へのご意見やお考えを頂きたいと考えています。皆さんで素晴らしい40年を迎えましょう!!

## 一泊研修旅行は土佐へ 6/10~11 龍馬も五月山・桂浜を走ったのだろうか



2年連続で四国方面への一泊研修となりました。今年は川田さん、高岡さんの故郷土佐の高知を訪問することになりました。梅雨時期でしたが晴間もでて美原から5時間ほどで総勢20名が高知に到着。見晴らしのいい五月山で昼食をとり、龍馬像のある桂浜に向かいました。桂浜からがメインイベント。海岸沿いに20kを走り半島の小高い丘の上の国民宿舎「土佐」がゴールです。午後の蒸し暑い時間のスタートでしたがゴールに近づくと曇りがちになり少し走りやすくなりました。無事全員ゴールし、ビールで乾杯、露天風呂で汗を流しました。



### 迷子になるほど高知三味 城や市場で土佐満喫

四国と言えばお遍路。梶原さんが辿った修行道場が点在しています。朝練では36番「青龍寺」をお参りしお遍路気分。

## 一足先に40年 河内長野ランニングクラブ 八田会長、穂満副会長が出席



8/27(日)に河内長野RCの40周年記念式があり河内長野市長や近隣クラブの会長副会長等総勢約80名が参加されました。美原走ろう会の40周年記念事業の参考にと八田会長、穂満副会長が出席されましたが、年齢層の高さに危機感を感じたとか...

2日目の目玉は高知城です。幕末の土佐藩の活躍や明治維新に向けての力強さが伝わり迫力がありました。高知城下では市民や観光客でう日曜朝市があり、三々五々昼食を兼ねて散策することとしました。そこでトラブル発生!! 出発時間になっても酒井さんが戻ってきません。手分けして市場の中、商店街、高知城を探していると、高知城の門のたもとで「ここや」と酒井さん。無事全員揃って美原に向かって出発することができました。さて来年は40周年です。どんな旅にできるか楽しみです。

## 奈良・大阪が一望できました 一体晴れ男は誰だろうか? 二上山マラニック 素晴らしい天気にも恵まれた



8月最終行事は二上山山頂を目指した往復マラニックです。不安定な天候が続く中、心配された空模様も好天に恵まれ、集合場所の「延羽の湯」に11名が集合、二上山をめざし走りました。毎度のことですが過熱するのが復路で、今年もサポートカーが追いつかないくらいの速さで先頭集団は「延羽の湯」に戻ってきました。一汗かいた後は舟渡池公園で打上げとなり大いに盛り上がりしました。

## 2017ロンドン世界陸上を振り返る 陸上NIPPONの生きる道

メダル3個をどのように評価するのか。7月末から8月に掛けてロンドンで開催された世界陸上。日本勢の活躍で「あっぱれ」は男子50k競歩での荒井選手銀、小林選手銅、それと男子400Rの銅であろう。敢えて追加するとすればサニブラウン選手の男子200決勝進出ではないか。

一方40k以降最速だったというマラソン川内選手を含めても、残念ながら日本のマラソン勢は男女ともに精彩を欠いた結果だった。マラソン界はもっと我々裾野から抜本的な育成改革が必要ではなかろうか。

